

マリキナ RC 創立 50 周年記念式典に参加して

広報・マルチメディア小委員長 佐藤 武彦

去る 3 月 18 日に開催されたマリキナ RC 創立 50 周年式典に参加して参りましたのでご報告致します。

3 月 17 日（火）午後 6 時発の JL 便で成田を出発。マニラには、現地時間 10 時 10 分に到着。入国審査の後、マニラ市内のホテルに向かった。事前に予約していた紺野直前会長の送迎車にちゃっかり分譲し空港から移動。紺野直前の宿泊するパンパシフィックホテルを目指す。わたくしの場合は、急遽の渡比であった為、パンパシフィックホテルに程近いパームプラザホテルに宿を取りました。午後 12 時に待ち合わせて、2 人で遅い安着祝いをしたのはゆうまでもありません。

翌 18 日は創立記念式典が夕方からとゆう事もあり、せっかくフィリピンに来たのだからと、早起きして車をチャーターし一人マニラ郊外のタガイタイに出かけました。タガイタイはマニラの南西 60 キロに位置し、標高も 700m 程あると言う事でマニラと比べてかなり涼しい所で、眼下にタール湖を望み世界一小さいと言われているタール火山が見られます。

午後マニラ市内に戻り紺野直前と合流。早めにマニラホテルへ向かいました。マニラホテルは 1912 年の開業以来、世界各国の V.I.P をゲストとして迎えてきた格式高いホテルです。「世界のベストホテル」をはじめとする数々の賞を受賞しているだけあって、ロビーをはじめホテル各所にゴージャスでクラシカルな雰囲気漂っておりました。

開催は午後 6 時との事ですが、何となくメンバーが集まって来ていつの間にかドリンクが運ばれ、あちこちのテーブルで会話がなされ会食が始まったと言う感じ。我々日本人の主催する式典のイメージとは、いささか違った雰囲気で開催記念パーティがスタートしました。会食が一段落し、場内が暗転するといよいよ式典がスタートし、会長挨拶、ガバナー挨拶祝辞等が述べられ、各地からお祝いに駆けつけた友好クラブ等の紹介がなされました。



福島クラブの我々は、紹介の一番最初に案内され紺野直前会長は、出席者を前にお祝い言葉を述べられました。事前に通訳と内容を打ち合わせた事もあり、満場の拍手を浴びました。その後、当クラブから持参した \$ 2000 を贈呈し調印式となりました。その後、マリキナ RC 会員が歌の披露や奥様と一緒に社交ダンスを披露したりと、華やかなパーティーは続き、終了したのは午後 10 時にならんとしておりました。我々は、翌 19 日のマリキナ市内で行われるフェロシップナイトへの招待を受け、この会場を後にし宿泊先のホテルへと戻ったのであります。パーティー終了後ホテルに戻った我々は、ホテル近くの韓国焼肉レストランで反省会を閉店まで行ったことは言うまでもありません。

翌 19 日は、前日のアルコールが残ったせいか目が覚めたのは、午後でありました。マリキナから午後 4 時に迎えに来ると言うので、それまでホテルの目の前にあるロビンソンデパートで土産物を物色。家族と社員用にドライマンゴーどっさり買い込みました。そうこうしている内に程なくお迎えの時間となり、迎えに来たのがなんとマリキナ市の現職私服警官の 2 人。相変わらずの超渋滞の中、割り込み車線変更を繰り返しながら一路マリキナ市へと向かったのであります。走る事 1 時間半程して会場となったマリキナ市内「コーヒーレストラン テキサス」に到着。

会場には、マリキナ市の市長さんや副市長のファビ氏、マリキナ RC のメンバーが出迎えてくれました。韓国のロータリアンや、マレーシアのコタキナバル市から、ルヤング(Luyang)ロータリークラブのフランシス チャン会長他数名、バンコク南ロータリークラブのジェフリー カーター氏他 2 名等が招待されており、前日のパーティーとは打って変わって終始和やかに楽しく交流を深める事

ができました。 また、前日には受付やらパーティーのスタッフやらと、ろくに挨拶もできなかったおなじみのマリキナ RC のメンバーともお話しできこれまでに無い有意義な交流の場でありました。

楽しい時間は、あっという間に来るものでお別れの時間となり、再び混雑する道を同じおまわりさんに送って頂きました。今回のマリキナ RC 訪問は、創立記念パーティーへの出席と言う形の 2 日間の滞在となりましたが過去 2 回の訪問（私個人）と違って、より深い交流の機械を頂けたと感じました。ありがとうございました。